



# 2022年度 キックオフの会事例集

～青少年赤十字への意識化を図り、活動を充実させるために～





- 加盟校の子どもたちが、**青少年赤十字への関心・意欲を高めたり、活動を充実させたりするための意識化を図る方途**の一つとして、キックオフの会を実施していただきました。
- 2022年度は、**約6,700名以上**のみなさんが、赤十字や青少年赤十字について改めて知ると共に、活動に取り組もうと意欲を高めることができたと考えています。
- 今まで学校で取り組んできたことやこれから取り組もうとする事は、青少年赤十字の活動につながっていること。そして、自分自身が、何を実践すれば良いかを具体的に考えてもらえるようにすることが大切だと思います。

## キックオフの会について

# キックオフの会事例校

| 防災教育推進校   | 100周年事業推進校 | 研究推進モニター校  |             |             |
|-----------|------------|------------|-------------|-------------|
| 山県市立大桑小学校 | 岐阜市立加納幼稚園  | 岐阜市立鶉小学校   | 大垣市立中川小学校   | 可児市立土田小学校   |
| 高山市立清見中学校 | 上楽学園長森幼稚園  | 岐阜市立長森西小学校 | 垂井町立府中小学校   | 七宗町立神淵小学校   |
|           | 岐阜市立長良東小学校 | 羽島市立桑原学園   | 池田町立宮地小学校   | 七宗町立上麻生小学校  |
|           | 郡上市立大和西小学校 | 山県市立伊自良中学校 | 郡上市立相生小学校   | 八百津町立八百津小学校 |
|           | 揖斐川町立谷汲中学校 | 瑞穂市立西小学校   | 郡上市立那留小学校   | 御嵩町立上之郷小学校  |
|           |            | 本巣市立弾正小学校  | 郡上市立大中小学校   | 土岐市立妻木小学校   |
|           |            | 笠松町立笠松小学校  | 郡上市立北濃小学校   | 恵那市立恵那西中学校  |
|           |            | 岐南町立北小学校   | 美濃加茂市立伊深小学校 | 下呂市立竹原小学校   |



各助成指定校では、園児・児童・生徒の皆さんに、どのような場で、どのような内容を話していただけたのでしょうか？

各校(園)で行われた『キックオフの会』をご覧ください。

2022年は、青少年赤十字創設100周年でしたから、それに関わる内容も含まれています。



- 1 日 時 令和4年4月15日（金）
- 2 場 命を守る訓練（第1回避難訓練日）
- 3 担 当 校長
- 4 人 数 児童数：43名 教職員数：14名

## 山県市立大桑小学校

キックオフの会で話された内容等

- (1)赤十字社について
  - ・創設やその経緯について説明
- (2)青少年赤十字社について
  - ・本校が加盟している青少年赤十字から、防災教育推進校として選ばれたことを紹介
  - ・実践目標の1つである「健康・安全」のもと、防災教育を実践していくことを説明
  - ・校長室に青少年赤十字の旗を置き、児童・教職員のみならず、来校者にも、防災教育推進校であることを伝えている。
- (3)防災教育推進校としての「本校のテーマ」について
  - ・「自分の命は自分で守る」を合言葉に、この1年、命を守る訓練、防災授業、救命救急講習等を通して、自分で考えて行動し、命が守れる子になってほしいことの呼びかけ



- 1 日 時 令和4年7月4日（月） 10：00
- 2 場 学級活動の時間
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 生徒、教職員数 68名

## 高山市立清見中学校

### <話された内容等>

- ・昨年いただいた、青少年赤十字テントの紹介。
- ・青少年赤十字についての紹介。
- ・青少年赤十字から防災教育の活動助成費の紹介。
- ・いただいた活動助成費を元に、これまで備え付けていなかった**全校生徒と教職員分の「防災ヘルメット」**を購入することができたことを紹介。
- ・「防災ヘルメット」の使い方や、保管の仕方を確認。



- 1 日時 令和4年5月9日、10日
- 2 場 帰りの会
- 3 担当 養護教諭
- 4 人数 全クラス園児…85人、教職員…12人

## 岐阜市立加納幼稚園

### <話された内容等>

- ①赤十字の旗の紹介
- ②赤十字は「まわりの人には、やさしく思いやりをもって接することや、困っている人がいたら皆で助け合うことが大切である。」ことを世界中に知らせ、実践されている。
- ③創設者のアンリー・デュナンの紹介。
- ④幼稚園の皆も、まわりの人にやさしく、困っている人を助けよう。



- 1 日 時 令和4年5月17日(火)
- 2 場 春の避難訓練後〈全園児・職員参加〉
- 3 担 当 園長
- 4 人 数 園児数 150名 教職員数 18名

## 上楽学園長森幼稚園

### <話された内容等>

- 赤十字のマークを見たことがあるかな  
お医者さん・病院・救急車
- みんながいつも頑張っていることを続けていこう
  - ・命をたいせつにすること
  - ・元気に遊ぶこと
  - ・お家の人、友だちや先生と仲良くすること



〈年長 もも組のテント贈呈式〉  
青少年赤十字の活動を紹介した 「いのちと健康」  
「みんなとなかよく」



- 1 日 時 令和4年11月11日（金）
- 2 場 5・6年 学年集会
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童 200名 職員10名

## 岐阜市立長良東小学校

### < 話された内容等 >

- ① 赤十字について
- ② アンリー・デュナンについて
- ③ 青少年赤十字について
- ④ 青少年赤十字100周年について
- ⑤ 青少年赤十字が大切にしていること



### 実践目標と態度目標

- ① 長良東小で大切にしていること
- ② 防災学習・福祉学習について

- 1 日 時 令和4年5月9日（月）、10日（火）
- 2 場 朝活動の時間 各教室
- 3 担 当 教頭、各担任
- 4 人 数 児童43人 教職員数 8人

## 郡上市立大和西小学校

### <話された内容等>

- ①赤十字とは 赤十字マークとその意味
- ②青少年赤十字～気づき・考え・実行する～について
- ③赤十字が大切にしている3つ「健康・安全」「奉仕(福祉)」「国際理解・親善」、そのうちの「奉仕(福祉)」について
- ④大和西小学校の福祉の学習・活動について
- ⑤モニター校に選ばれたことについて



- 1 日 時 令和4年8月28日(火)
- 2 場 昼の放送
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 71名

## 揖斐川町立谷汲中学校

### <話された内容等>

- 1 赤十字とは・モニター校になったことについて
- 2 今年度の活動テーマ  
「変化に立ち向かい、自らの手で未来社会を  
逞しく創造できる人材の育成を目指す」
- 3 活動内容
  - ・小中授業交流
  - ・小中合同ひびきあい集会
  - ・揖斐特別支援学校との交流
  - ・サンサンフリーマーケット(ウクライナ募金)



## 岐阜市立鶉小学校

- 1 日時 令和4年5月30日（月）
- 2 場 全校朝活動（テレビ放送）各教室にて視聴
- 3 担当 教頭（プレゼンをしながら話す）
- 4 人数 全校児童779人対象、教職員62名

### <話された内容等>

- (1)昨年度「銀色有功賞授与」と本年度研究モニター校選定について
- (2)赤十字について(創設100周年)
- (3)アンリ・デュナンの思い
- (3)青少年赤十字でめざす3つの内容について
  - ①いのちと健康 ②奉仕 ③友好・親善
- (4)青少年赤十字のモニター校として目指す態度や具体的な活動
  - ①3つのめざす内容を具現するための態度「気づき 考え 実行する」について
  - ②3つのめざす内容につながる活動例の紹介  
(本年度取り組んでいきたい内容)
- (5)まとめ  
アンリ・デュナンの思いを受けつぎ、青少年赤十字の活動を皆で行うこと。  
身近な生活に目を向け、「気づき・考え・実行」することを通してよりよい学校や地域にしていくこと。  
青少年赤十字の活動を通して自分を磨き、ゆたかでたくましい鶉の子になること。



- 1 日 時 令和4年 5月 16日 (月)
- 2 場 長森西小学校 体育館
- 3 担 当 5年担当者、各学年
- 4 人 数 全校生徒 503人 教職員26人

## 岐阜市立長森西小学校

### <話された内容等>

- ・赤十字について  
( 赤十字の成り立ち、意味と約束、歴史、活動内容など)
- ・福祉に関わって 体験から学び、自分たちができること



- 1 日 時 令和4年10月28日（金）
- 2 場 冬休み前の全校集会（Zoomにて各教室で開催）
- 3 担 当 校長
- 4 人 数 164名

羽島市立桑原学園

### <話された内容等>

- 1 赤十字のマークについて
- 2 赤十字の始まりについて
- 3 アンリー・デュナンについて
- 4 赤十字の国内外での活動について
- 5 青少年赤十字の精神について
- 6 皆さんにもできることがある



- 1 日 時 令和4年11月21日（月）
- 2 場 給食時の放送（ランチルーム）
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 生徒72名、教職員12名

山県市立伊自良中学校

## <話された内容等>

### ①赤十字の説明

- ・赤十字の歴史と目的
- ・私たちと赤十字の関わり



### ②日本赤十字社の取組や活動についての説明

- ・日本赤十字社の社会貢献
- ・モニター校としての今後の取組
- ・今、わたしたちにできること



- 1 日 時 令和5年1月23日(月)
- 2 場 児童集会
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童・職員数 227名

## 瑞穂市立西小学校

### <話された内容等>

- ① 赤十字とは
- ② マークの意味と成り立ち
- ③ 青少年赤十字の活動
- ④ 西小と赤十字の活動
  - ・青少年赤十字の旗の紹介
  - ・赤十字文庫があること、避難所運営のための学習や道具を準備したことの紹介
  - ・西小の学校目標と青少年赤十字の目標が一致すること



**西っ子が、思いやりの心で人に接して、助け合う行動をとることは青少年赤十字の目指す姿と一致する！**



- 1 日 時 令和4年9月1日
- 2 場 所 お昼の放送
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童225名、教職員26名

## 本巢市市立弾正小学校

### <話された内容等>

- 「赤十字は、第一回ノーベル平和賞受賞者アンリー・デュナンというスイス人がすすめた「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界192の国と地域に広がる組織です。
- その中に、青少年赤十字という組織があります。青少年赤十字は、子ども達が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中でのさまざまな活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のためにはたらき、世界の人びととのなかよくかかわる心を育てることを目的として、さまざまな活動を学校の学習の中でしています。

○弾正小学校も青少年赤十字に加盟しています。

○弾正小学校のみなさんは、命や健康を守るために、コロナウイルス感染症を防ぐために、呼び掛けて予防していますね。それは、青少年赤十字で願う「気づき」「考え」「実行する」ということにあたります。地震などの災害から自分たちの身を守るための防災についての勉強もその一つです。

○自分の命も家族や友達の命も守れる弾正小学校のみなさんになってほしいと願っています。」



- 1 日 時 令和4年 4月22日 (金)
- 2 場 全校放送集会
- 3 担 当 校長、福祉教育担当者、担任
- 4 人 数 児童 231人

## 笠松町立笠松小学校

### <話された内容等>

- ・青少年赤十字とは
- ・笠松小学校の赤十字活動

### 【奉仕】

- ・一人一鉢、植物を育てる
- ・5年生は、小菊を地域の方々へ贈る。
- ・6年生は、葉牡丹を地域の方々へ贈る。
- ・JRC委員会のアルミ缶回収、ペットボトルキャップ回収

### 【健康安全】

- ・ジャンピングボードを活用した体力向上のすすめ
- ・身近な防災を学ぶ活動の紹介



- 1 日 時 令和4年4月15日（金）
- 2 場 所 お昼の全校放送
- 3 担 当 校長、教頭、養護教諭、保健主事
- 4 人 数 児童数：350人 教職員数：30人

## 岐南町立北小学校

### <話された内容等>

### 児童が命を守る訓練に真剣に取り組む理由

#### 「自分の命は、自分で守る」

- ・そのために、「気づき・考え・実行する」ことが大切。
- ・いろいろな状況を想定した「命を守る訓練」を実施し、一人一人がどのように自分の命を自分で守るのかを考え、行動に移していくことを年間を通して学んでいく。
- ・学年によっては、教科の学習や総合的な学習の時間に、防災や減災について学習し、それを日常生活の中での気づきや考えにつなぎ、実行に移していけるようにする。



- 1 日 時 令和4年10月 5日(水)
- 2 場 朝活動にて実施(全校放送)
- 3 担 当 校長と担当児童
- 4 人 数 全校児童798名

## 大垣市立中川小学校

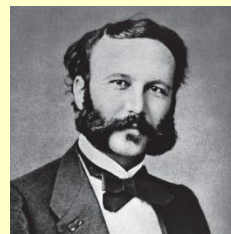
### <話された内容等>

赤十字、青少年赤十字(JRC)の紹介と、JRCの活動の呼び掛け

- ・赤十字は、スイス人のアンリー・デュナンによってつくられたこと。
- ・赤十字の旗は、スイスの国旗を元に作られていること。
- ・赤十字の基本の考え方は、「やさしさ」と「思いやり」であること。
- ・日本の青少年赤十字(JRC)は1922年につくられ、昨年100周年を迎えたこと。
- ・JRCが大切にしていることは、「健康・安全」「福祉」「国際理解」であること。
- ・困っている人がいたら助け合う、お互いにコロナ予防を徹底するなど、自分達ができることをすることがJRCの活動になる。
- ・中川小学校もJRCに入っていて、モニター校として支援(寄付金)をいただいていること。  
中川小学校は、図書館に本を寄贈していただいた。

### 成果と課題

- 児童にとって、赤十字について知るきっかけになった。また、中川小学校が赤十字に支援していただいていることについても、具体的に知ることができた。
- JRCの活動は、自分達ができることをすることであり、決して難しいことではないことを伝えることができ、その後の学校生活に活かすことができた。
- 校内放送における集会であったため、一方通行の伝達になってしまった。話し手・聞き手双方のやりとりを取り入れられると良かった。



- 1 日 時 令和4年6月28日 12:40～
- 2 場 所 お昼の校内放送
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童210名、教職員15名

## 垂井町立府中小学校

### <話された内容等>

これから、JRCキックオフの会を始めます。

皆さん、JRCという言葉聞いたことはありませんか？では、白地に赤い十字をみたことはありますね。

これは、赤十字のマークで、赤十字社という団体は、世界中の組織で人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救うことを目的としています。

また、JRCとはjunior red crossの略で、日本の青少年赤十字社は創設100周年になります

今年は、100周年を記念してさまざまな企画を準備しているそうです。小中学校の活動もサポートしていただいています。

府中小でも、その一環として、健康・安全にかかわって、「校区内の防災」の活動をサポートしていただけます。

今年は、大した雨も降らずに梅雨が終わって良かったですが、これからも、台風などの災害が考えられます。また、最近では、日本各地で地震が起こっていて、それも心配です。

皆さんも防災について考えてみてください、この放送をもって、災害について考えるキックオフとしたいと思います。

あなたの身近に、川があふれたり、がけ崩れが起きそうな場所はありませんか？災害が起こりそうなときは、どこに避難することになっていますか。家族みんなで話し合うことも大切です。

また、今週のこの暑さも、それで病気になる人が出たら災害です。災害を防ぐために、マスクを外すなどのアドバイスが出ています。自分が健康。安全に過ごせるよう、心がけましょう。

これで、JRCキックオフの会の放送を終わります。

- 1 日 時 令和4年10月18日（火）
- 2 場 所 お昼の放送
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童数79名、教職員数17名

## 池田町立宮地小学校

### <話された内容等>

- ・日本赤十字社とは、
- ・モニター校になったことについて
- ・助成していただいたお金の使途について
- ・購入したものを大事に扱ったり、これからも自分や仲間の命を大切にして 過ごしたりすることの大切さを話した。



▲ 助成していただいたお金の一部は、歯科指導をしていただいた歯科衛生士への謝礼として使わせていただいた。



▲ 助成していただいたお金の一部で、「レスキューボードベンチ」を購入した。水泳学習の際にプールサイドで使用したり、運動会の救護テントに設置したりした。

# 郡上市立相生小学校

- 1 日時 : 令和4年6月2日(木)
- 2 場 : 全校集会
- 3 担当者 : 教頭
- 4 児童数 : 115名

## <話された内容等>

- ① 赤十字とは
- ② 青少年赤十字は、どんな実践目標をもって、どのような具体的な活動をしているのか
- ③ 相生小学校が赤十字活動のモニター校になったこと

## ④ 相生小学校の取組として

毎日、生活をしていて、自分のことでも、仲間や家族や地域とのかかわりでも何でもよい、こんなことができるとういなることやこんなことができているいないって、自ら『気付いた』ことがあると思う。そんな時には、どうしたらよいのか、**どんな活動ができるなどを『考える』**と思う。その考えたことを**とにかく『実行』してみる**ことが大切だということ伝えた。

子どもたちに、身近になることから取り組もうとすることを意識付けることできた。



- 1 日 時 令和4年10月13日(木)
- 2 場 朝活動の防災の時間(全校集会)
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童51名 教職員10名

## 郡上市立那留小学校

### <話された内容等>

#### ①日本赤十字の活動内容の紹介

- ・苦しんでいる人たちを助け、誰もが健康で安全に、安心して生活できるようにするために活動をしていること
- ・私たちの生活にも、赤十字の活動が関係していること(テントや本の寄贈の紹介)

#### ②青少年赤十字の目的の紹介

- ・いのちと健康を大切にし、安全な生活をする
- ・みんなのために何ができるかを考え、行動すること
- ・みんなと仲良くし、助け合うこと

#### ③モニター校になったことについて

- ・学校生活でいつも大切にしていることは、青少年赤十字の目的と同じであること
- ・誰もが安全に安心して生活できることを大切に行動すること

以上のような内容の話をし、青少年赤十字の一員としての自覚を持って活動していくことを確認した。





- 1 日 時 令和4年4月18日（月） 13:50
- 2 場 全 校 集 会 の 場 で 説 明 （コ ロ ナ 禍 の た め 全 校 児 童 の 参 集 が で き ず）
- 3 担 当 校 長、教 頭
- 4 人 数 114名 職 員 数 8名

## 郡上市立大中小学校

### <話された内容等>

- ・ 赤十字の組織や活動について説明
- ・ 赤十字の歴史的な意義
- ・ 本校が、今年度も昨年度に引き続き赤十字研究推進モニター校に指定されたこと
- ・ 青少年赤十字についての説明
- ・ 本校が「なかよし宣言」を大切に生活していること  
（集会後、「なかよし宣言」の内容を全校ZOOM集会で紹介）
- ・ 本校が「生命と健康」を大切にする活動として、「防災トレーニング」を行っていること
- ・ ふるさとのよさを学び、継承していくこと



- |   |    |             |
|---|----|-------------|
| 1 | 日時 | 令和4年6月7日(火) |
| 2 | 場  | 朝の全校放送      |
| 3 | 担当 | 教頭          |
| 4 | 人数 | 児童49名 教職員9名 |

## 郡上市立北濃小学校

### <話された内容等>

#### ①青少年赤十字のマークおよび青少年赤十字簡易テントについて

全校放送を通じて青少年赤十字のマークについて、「赤い十字のマークを見た経験がないか？」と全校児童に問いかけた。ここ数年間、運動会等の大きな行事は実施できていないが、その際にテントを使用していたことや、コロナウイルス感染症予防対策の一環として、健康チェックカードの点検を屋外で実施する際の雨よけ等に利用していた事例を紹介し、児童の意識付けを図った。

#### ②赤十字と青少年赤十字について

配布された資料を参考に、赤十字の活動や状況について各教室に配布・掲示しながら、内容を簡単に説明した。その上で、青少年赤十字の活動について、3つの態度目標と3つの実践目標を示しながら、具体例を挙げて児童に説明をするよう心がけた。

#### ③具体例について

「気づき・考え・実行する」の態度目標に照らし合わせて、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標から、小学生の生活の中で日頃から大切にしていたり、無意識に行動していたりすることがたくさんあることを伝えた。そして、改めて新しいことに取り組むのではなく、今やっていることに博愛の精神の自覚をもって取り組むことが値打ちのあることだ、という意図を児童に伝えた。

「健康・安全」 ……例)毎日の集団登下校における班長・副班長の働きぶり

「奉仕」 ……例)近隣介護施設からの作品掲示、自発的なゴミ拾いも姿

「国際理解・親善」……例)ALTとの授業や休み時間のふれあい



- 1 日 時 令和4年11月30日（水）
- 2 場 全校朝会（オンラインにより実施）
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 全校児童 80名・教職員13名

# 美濃加茂市立伊深小学校

## <話された内容等>

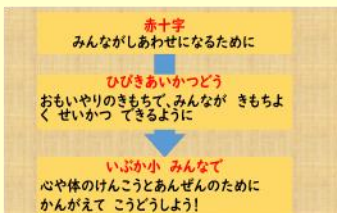
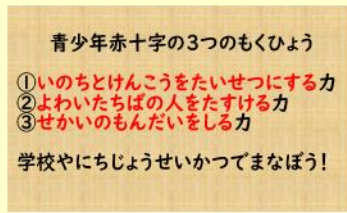
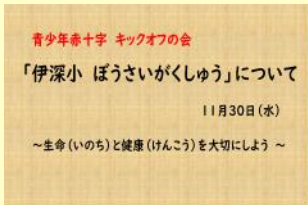
1点目は、4月からの防災学習や、いのちを守る訓練、シェイクアウト訓練等を通して、災害について学び、避難する力がついてきたことを確認した。

2つ目は、今年度、赤十字社から協力していただいた活動を全校で紹介した。

3つ目は、研究推進モニター校になり、防災講演会や泥沼避難体験を行ったことについて話した。

4つ目は、赤十字・青少年赤十字について、組織の創始者や現在の活動、青少年赤十字の活動を通して、つけたい力について紹介をした。

最後に、赤十字の精神をもとに、伊深小学校の日常生活や活動において、全校みんなで大切にしたいことについて話をした。



- 1 日 時 令4年10月12日（水）
- 2 場 所 お昼の放送、職員打合せ
- 3 担 当 図書館担当者職員、図書委員会
- 4 人 数 児童540名、教職員47名

## 可児市立土田小学校

### <話された内容等>

\*JRC文庫(図書の書籍の寄贈)と一緒に重ねて全校児童に紹介した

- (1)赤十字について
- (2)本校が日本赤十字社から活動推進モニター校に認定されていること。
- (3)こうした機会を通して自分を見つめ直し「気付き・考え・実行する」ことが大切であること
- (4)特別な取組ではなく、学校の仲間や家族、地域の方々に対するやさしい気持ちをもつこと
- (5)土田っ子「スマイル宣言」を頭に置いて「あいさつ」「あったか言葉」「あったか行動」を大切にすること



- 1 日 時 令和4年6月13日(月)
- 2 場 全校集会 神淵小学校集会室
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 59名

## 七宗町立神淵小学校

### <話された内容等>

- ① 青少年赤十字の使命、活動内容について説明
  - ・日本赤十字の歴史的意義
  - ・日本赤十字社の使命
- ② 本校がモニター校に認定されたことについて
  - ・本校がモニター校に認定された経緯について
  - ・岐阜県青少年赤十字校推進モニター校として
- ③ モニター校の活動について
  - ・健康について…よりよい生活習慣・病気を予防する力・不安や悩みへの対処法  
食事の重要性
  - ・安全について…命を守る訓練・引き渡し訓練・命の集会
  - ・奉仕(福祉)について…互いの良さを認め合う活動・サンホーム(高齢者施設)訪問  
保育園交流・ありがとうの会

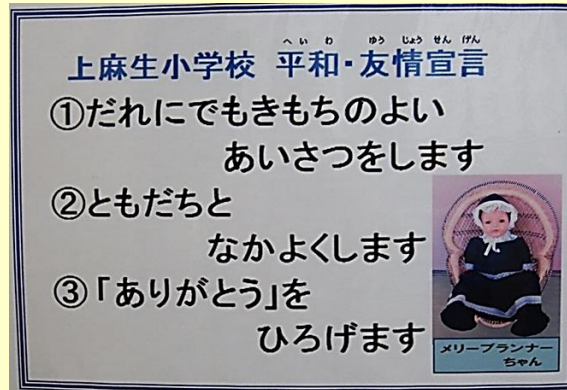


- 1 日 時 令和4年6月22日(水)
- 2 場 全校朝会(リモート形式)
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童数62人・教職員数12人

## 七宗町立上麻生小学校

### <話された内容等>

- ①青少年赤十字 のことを知ろう。
  - ・アンリー デュナン、人道博愛の精神、日本赤十字について。
  - ・「いのちとけんこうをまもる」「ひとのためになる」
  - 「国と国がなかよく助け合う」ことを目指して活動している。
- ②上麻生小学校が推進校になりました。
- ③特別なことはしなくてもいいよ。
- ④上麻生小学校の平和・友情宣言を大切にしていこう。
  - ・だれにでも すすんで あいさつしよう
  - ・ともだちと なかよくしよう
  - ・「ありがとう。」を ひろげよう



1 日 時 令和4年10月31日（月）

2 場 全校朝会

3 担 当 校長・教頭・教務

4 人 数 児童：126名 教職員：23名

八百津町立八百津小学校

### <話された内容>

- ・赤十字についての説明・活動
- ・青年赤十字についての説明・活動
- ・赤十字モニター校になったこと
- ・赤十字との本校の関わりについて
- ・本校の人道精神の取組の確認



赤十字社から寄贈されたテントや図書を取り上げながら、身近に関わっていることを伝える。本校での取組みも関わりがあることを共有する。

- 1 日 時 令和4年6月10日（金）
- 2 場 全校朝会（オンラインで各教室とつないだ）
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 児童数67名、教職員数11名

御嵩町立上之郷小学校

<話された内容等>

- ① 青少年赤十字の旗を見せ、見たことがあるかを尋ねた。
- ② ハートラちゃんといっしょ！「赤十字」と「青少年赤十字」を視聴し、赤十字と青少年赤十字の歴史を知った。
- ③ 青少年赤十字の理念「気づき」「考え」「実行する」を普段の生活や授業で意識することを啓発した。



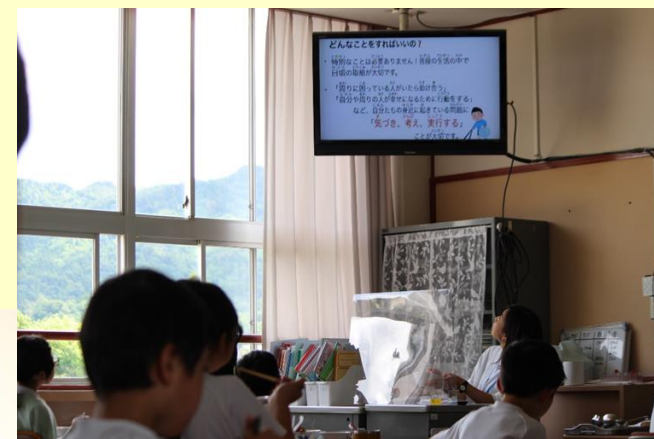


- 1 日 時 令和4年5月27日（金）
- 2 場 所 お昼の放送
- 3 担 当 養護教諭
- 4 人 数 児童数：214人 教職員数：23人

土岐市立妻木小学校

## <話された内容等>

- ▶ 「赤十字」について
  - ・赤十字の活動について紹介
- ▶ 「青少年赤十字」について
  - ・青少年赤十字の設立
  - ・大切にしている活動
  - ・どんなことをしたら良いのか



- 1 日 時 令和4年4月28日(木)
- 2 場 全校集会 (zoom)
- 3 担 当 校長
- 4 人 数 生徒401名、教職員35名

## 恵那市立恵那西中学校

### <話された内容等>

- ① JRCの活動について
- ② 昨年度に引き続き、今年度も恵那西中学校が推進校に指定していただいたこと
- ③ WWAの取組を価値付けながら、地域に貢献していくことについて

### 【生徒の感想】

自分たちにも何かできることはないかと考え、学校や地域をよくするために活動していきたい。そして、地域みなさんが誇りに思っていただけ恵那西中学校にしていきたい。」と力強く話してくれました。



▲ 校長講話『キックオフの会』(リモート)

- 1 日 時 令和4年9月6日(火)
- 2 場 命を守る訓練
- 3 担 当 教頭
- 4 人 数 154名

## 下呂市立竹原小学校

### <キックオフの会を伝える学校ホームページの内容>

青少年赤十字の実践目標の一つに「健康・安全」があります。

「自分の命は自分で守るぞ!」ということを大切に、シェイクアウト訓練を行いました。

休み時間中に大きな地震が起きても命を守る行動が素早く取れること、そして、指示をしっかりと聞き、自分で安全に避難できるようにすることを目標に取り組みました。

子どもたちは、その目標に向かって、どの子もしっかりと行動することができました。早くグラウンドに出た6年生が、下級生を整列させるたのもしい姿もありました。



それぞれの幼稚園や学校で実施された『キックオフの会』をご覧いただきありがとうございました。

自分の幼稚園や学校で、何をすることが青少年赤十字活動とつながっているのかを知る良い機会になったと思います。

